

## 「氷河時代の日本」 展を見て

坂本 亨

会場入口でまず目をひくのは 明滅する火山を背景に手に手に長槍をがまえて ナウマン象にいでむ原始の狩人のパノラマ。前景の湖は 野尻湖であろうか。オオツノジカがたたずむ。遠く氷河時代におもいをはせようとする人々にとって このパノラマは あるいは子供じみた作り物と見えるかも知れない。だが 一度会場に入ってみれば これが単なる空想の産物でないことがわかるだろう。

「氷河時代の日本」展の圧巻は 出土位置そのままに象牙・象歯の化石などを配置した野尻湖の発掘現場の復元と 全長 8 m に達するという巨大なマチカネワニのほとんど完全な骨格の化石とであろう。

長野県の北端 芙蓉の花に似たという野尻湖には 3 年前から春先きになると 200 人以上の研究者・教師・大学生・高校生・中学生たちが集まり 雪をかきわけ干上がった湖底の泥を掘り返しつづけた。彼らは 何を求めて この高原の湖に集まったのだろうか。

野尻湖の湖底では 以前から 旧石器やナウマン象の臼歯の化石が発見されていました。そして 旧石器を産する杉久保と象化石を発見した立ガ鼻とは 同じ湖底にあって 500 m とは離れていない。旧石器を包有する地層と象化石を産出する地層とは どんな関係にあるのだろうか。旧石器時代人とナウマン象は 同時代にこの野尻湖の付近で共存していたのだろうか。さらにこれらの地層は 日本アルプスに発達した氷河とは時期的にどちらが前でどちらが後のものだろうか。あるいは人類の骨は発見されないものだろうか。

こういった疑問をとくために 大きな期待を抱いて 延数百人に達する人々が この湖畔に集まり 地道な発掘作業をつづけたのでした。そして その成果は……それがこの会場に展示してあるのです。

今からわずか 2 万年くらい前まで 日本に象が住んでいたこと。それは日本アルプスの氷河の最盛期より後で 当時の気候はむしろ寒冷であったこと ナウマン象

といっしょに旧石器の破片が出てくること等々。野尻湖で次々と発掘される新事実は われわれの常識を大きくゆり動かすことばかりでした。野尻湖の発掘は 今後も多くの人々の協力によって 進められ 氷河時代に関する われわれの知識をさらに豊かにして行くことでしょう。

一方のワニの化石は 日本で最初の発見です。これは たんに珍しいというだけではありません。層序が詳細に研究されている地域で見つかり 地質学者の手で慎重に掘り出され しかも 全骨格がほとんど完全に（ついに尻尾は出さなかったと言いますが）出てきたというのですから 2 重にも 3 重にも好条件に恵まれた幸運のワニということになるでしょう。大学構内で発見されたことも発掘作業に有利でした。

現世の仲間が熱帯～亜熱帯に住んでいるこのマチカネワニは はたして今から 50 万年前の温暖な時期に 南の島から はるばる 古大阪湾の一隅まで たどりついたのでしょうか。それとも 第三紀以来 次第に加わる寒さに耐えて生きつづけた仲間の名残りなののでしょうか。一匹のワニをめぐって 豊富な夢と多くの課題があとに残されて行きます。この他 会場には 各地で採集されたたくさんの象の臼歯の化石や 各地質時代の代表的な化石 旧石器の類もならべられています。現生の象の巨大な頭骨もまた異彩をはなつものです。会場の壁を飾る地質時代の復元図は「図説・地球の歴史」でおなじみの 金子画伯の原画です。こうして見ると 一段と迫力を増すようです。

会場の古地理図にもあるように 洪積世の日本列島は大陸と地つづきでした。北は北海道・樺太から シベリアへ。西は九州から 朝鮮・中国北部へ。氷河の消長によって 時には大陸との接続が断たれたにせよ 大部分の時期には ゴウヤシカの群も それを追う原始の狩人たちも 今は海底に沈んだ朝鮮陸橋をこえ 陸化していた宗谷・津軽海峡を渡って 大陸と日本との間を自由に往来したことでしょう。日本の旧石器遺物に見られる文化発達の階梯にも 国際的なつながりは濃いのです。

地質学といわず 考古学といわず 第四紀を研究するものにとって 現在のように 大陸との自由な交流を妨げられている状態は まことに不幸なことといわなくてはなりません。（筆者は地質部）

（注）「氷河時代の日本展」は去る 8 月 12 日～18 日東京新宿伊勢丹で読売新聞社主催で開催されたものである  
写真は読売新聞の好意により正井技官が撮影した



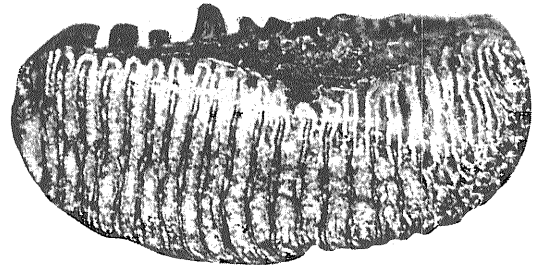
会場入口



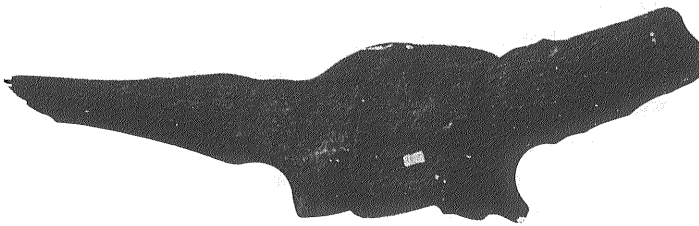
野尻湖発掘状況の復元  
出土したナウマン象をもとに配置してある



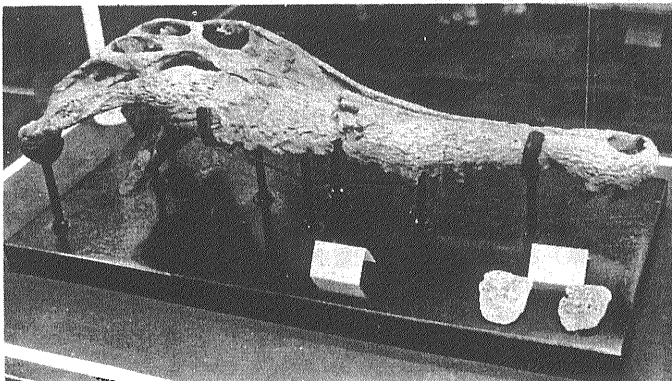
ナウマン象の下顎骨



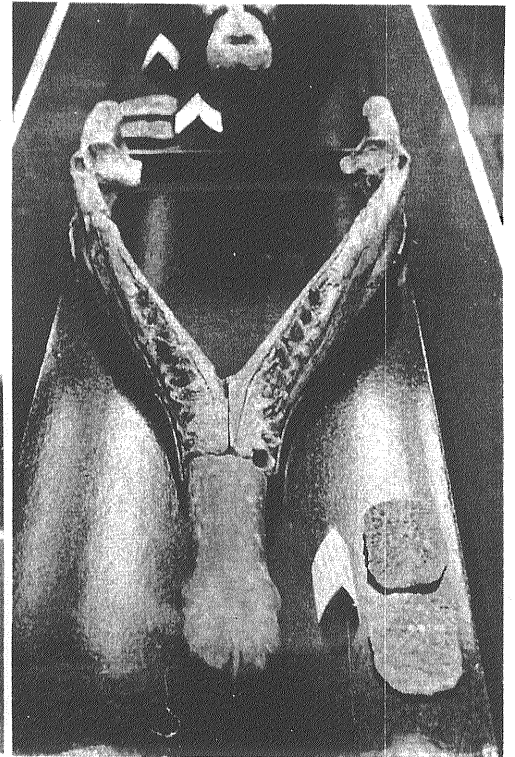
マンモス象牙



野牛の頭骨



大阪大学構内で発見されたワニの化石 マチカネワニの頭骨  
右下の2コの小片は骨鱗



マチカネワニの下顎骨